

平成29年度 横川中学校 学校評価書

※ 網掛けのない部分が評価計画、網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す生徒像含む）

（1）基本目標「自立と貢献」

豊かな心と健やかな体、主体的に考え行動する力、互いに協調して根気強く取り組む態度を培い、将来、社会人として「自立と貢献」ができる人間を育成する。

（2）具体目標（生徒の指標）

進んで学び主体的に行動する生徒

心豊かで思いやりのある生徒

心身ともに健康で気力のある生徒

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

- ・生徒に生きる力を育むことを目指し、「知・徳・体」の教育を調和的に展開することにより、確かな学力や自ら学び、考え、行動する力、豊かな心、健康な心身をもった人間の育成に努める。
- ・人間尊重の精神を基盤に、多様な資質や個性を持つ生徒に対し、正しい生徒理解や明確な方針に基づき、自他を尊重し健全な社会生活を営むことのできる人間の育成に努める。
- ・教職員としての使命を自覚し教師自らが研鑽に努め、協調して教育活動を推進するとともに、保護者や地域との連携を深め、より一層信頼される学校づくりを推進する。

3 学校経営の方針（中期的視点）※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

- （1）豊かな人間性、主体的に生きる力を育む教育の推進
- （2）「確かな学力」を確実に身に付けるための学習指導の推進
- （3）認めて褒めて、自己肯定感を高める教育の推進
- （4）新しい教育課題に、協調して取り組む教+職員の資質向上
- （5）小中学校、家庭、地域との連携による信頼される学校づくり

【横川地域学校園教育ビジョン】

豊かな心の育成を目指す 横川地域学校園の小中一貫教育

～自分・人・地域を大切にする子どもの育成を目指して～

4 今年度の重点目標（短期的視点）※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

【学校運営】

- （1）学習指導の充実
- （2）心身の「たくましさ」を養う教育活動の推進
- （3）教職員の資質及び組織力の向上
- （4）○保護者・地域との連携の推進及び小中一貫教育の推進

【学習指導】

「わかる授業」の展開と家庭学習の確立を図る学習指導、思考力、判断力、表現力を伸ばす言語活動の充実

- （1）基礎的・基本的事項の定着を図る「わかる授業」の展開
- （2）全教科における思考力、表現力を育てる言語活動の充実
- （3）家庭学習の充実
- （4）豊かな心の育成を目指す道徳教育の充実
- （5）読書活動の充実
- （6）主体性を育てるための特別活動
- （7）特別支援教育の充実

【児童生徒指導】

「挑戦する」「我慢する」「あきらめない」「自信を持つ」生徒を育てつための指導の充実

- （1）基本的生活習慣の徹底
- （2）問題行動等の情報の共有化
- （3）良好な人間関係の育成（コミュニケーション力の育成）
- （4）○家庭・地域との連携・協力
- （5）○横川地域学校園の取組

【健康（保険安全・食育）・体力】

自他の命を大切に、安全・健康・体力の向上に取り組む生徒の育成

- （1）安全教育（特に、交通安全）
- （2）健康教育
- （3）食育
- （4）体力向上
- （5）清掃
- （6）○横川地域学校園の取組

5 自己評価（評価項目のAは市共通、Bは学校独自を示す。）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

※「主な具体的な取組」の方向性には、A拡充 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入する。

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
学校運営の状況	<p>A 1 学校全体に活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。</p> <p>【数値指標】 「自分は今の学校が好きである」生徒の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 学校行事・集会等では、生徒会活動の活性化に努め、生徒の主体的な活動を生かした指導にあたる。</p> <p>② 校内の掲示物を工夫し、生徒の活動を紹介すると共に明るい雰囲気を作り出す。</p>	B	<p>【達成状況】 A 1 生徒の肯定的解答 89.8% ○ ・肯定的回答が生徒、保護者ともに 80%以上であり、目標を達成したと考えられる。</p> <p>【次年度の方針】 ・これまでの取組を継続し、学校行事や集会で生徒会や学級委員が核となり生徒の主体的な活動を推進するとともに、リーダーの育成に力を入れる。校内の掲示物の更新をまめに行い、生徒の意欲の向上を図る。</p>
	<p>A 2 教職員は協力し、生徒の良いところを認め、教えるべきことを熱心に指導している。</p> <p>【数値指標】 「先生は大切なことをしっかり教え、熱心に指導してくれる」生徒の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 「わかる授業」「楽しい授業」をめざし、明確な課題設定の工夫に努める。</p> <p>② 生徒一人一人の理解に応じたわかりやすい丁寧な指導にあたる。</p>	B	<p>【達成状況】 A 2 生徒の肯定的回答 93.4% ○ ・保護者の肯定的解答の割合が高まった。生徒は、昨年度とほぼ同じ割合であったので、目的は達成されたといえる。</p> <p>【次年度の方針】 ・保護者に対して授業の様子や取り組みを紹介していく。 ・「言語活動の充実」をめざし、見せ合い授業や授業研究会を行い、教科で課題を明確にし、わかりやすく、楽しい授業の展開に努める。</p>
	<p>A 3 生徒は、授業と生活のきまりやマナーを守って生活している。</p> <p>【数値指標】 「生徒は授業と生活の決まりやマナーを守って生活している」生徒の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 「授業の4つのきまり」「学習の仕方」の徹底とマナーを守ることの大切さを指導する。</p> <p>② 道徳や学級活動における指導内容の中に明確に位置づけて指導する。</p>	B	<p>【達成状況】 A 3 生徒の肯定的回答は 85%で、昨年度より 2.7%上がった。保護者の回答は、数値目標を超え、84.3%となり、昨年より 2.2%増加した。教職員の回答は 1.8%上がっている。</p> <p>【次年度の方針】 引き続き、「学習の4つのきまり」の再徹底及び学習態度や生活態度のきまりやマナーをしっかりと身につけさせる指導を継続的に行っていく。特に、「タイム着席」「起立、礼」「指名されたらハイ」「人の話を最後まで聴く」のさらなる実践化を図り、生徒が主体的に行動しようとする態度の育成を図る。特に返事にはこだわり、指名されたら「はい」、指示されてさらに「はい」を身につけさせたい。道徳や学級活動の時間を活用し、規範意識を高める授業実践を行うなど基本的な生活習慣の定着に努めていく。</p>

<p>A 4 教職員は、分かりやすい授業や一人一人へのきめ細かな指導をしている。</p> <p>【数値指標】 「先生方の授業は、わかりやすく一人一人に丁寧に教えてくれる」生徒の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 学力向上非常勤講師を活用して、基礎・基本の定着と自主学習ノートを使った効果的な家庭学習の指導に努める。</p>	<p>【達成状況】 A 4 生徒の肯定的回答は 86.9%で、昨年度より 1.1%下がったが、目標数値は達成している。保護者の回答は、72.3%となり、昨年より 2.7%増加した。</p> <p>B 【次年度の方針】 昨年度に引き続き、授業で T T やコース別学習、また放課後学習相談を行うなど、生徒一人ひとりに個別対応のできる学習指導の体制を整えていく。また、保護者へは授業参観等の機会に細やかな指導をしていることをアピールしていく。</p>
<p>A 5 学校は、いじめ対策を積極的に公表し、熱心に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 「先生方は、いじめ対策に熱心に取り組んでいる」 生徒の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① いじめアンケートの実施やスタンダードダイアリーを活用して、いじめの早期発見・早期対応に努める。</p> <p>② いじめ対策委員会を通していじめの実態の公表や対策を検討する。</p>	<p>【達成状況】 A 5 生徒の肯定的回答は 96.3%で 3.2%上昇。教職員は 95%だったが、保護者は 65.3%だった。しかし、昨年に比べ保護者は 11%上昇した。</p> <p>B 【次年度の方針】 O A11 の「あいさつ」・ A12 の「言葉づかい」同様、横川地域学校園の共通スローガンにもなっており、今年度の取り組みを継続し、より一層「いじめを許さない」意識を高められるよう努力していく。また、いじめの未然防止、早期発見及びいじめに関する取組状況をもっと積極的に保護者に対し公表していく必要があるため、生徒指導だよりや学校ホームページを利用していく。そしてさらに学校と保護者・地域が連携・協働していじめのない学校づくりに努める。</p> <p>夏休み明けに、「いじめ等問題行動対策員会」を開催し、生徒の健全育成に向け、PTA 及び保護司や青少年育成会等の関係機関と連携の再確認及び情報交換に努める。</p>
<p>A 6 学校の日課、授業、行事などの教育課程は、適切に実施されている。</p> <p>【数値指標】 「学校の日課、授業、行事などは適切に実施されている」 保護者の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 教育課程で適切に時数確保がなされているが、週案・教科部会等を通して確認・調整を行う。</p> <p>② 学校行事等については、P D C A サイクルで評価、改善等を行う。</p>	<p>【達成状況】 A 6 保護者の肯定的回答 98.4% ○ ・肯定的回答が保護者は 98.4%と 90%を超えており、教育課程は適切に実施されているといえる。</p> <p>B 【次年度の方針】 ・学校行事等では、職員会議で計画、立案、調整を行い、終了後 PDAC サイクルで評価、改善等を行う。</p>

<p>A7 学校は、学校便りや学校公開などで、積極的に情報を発信・提供している。</p> <p>【数値指標】 「学校は学校便りや学校公開などで積極的に情報を発信・提供している」 保護者の肯定的回答 85%以上</p>	<p>① 学期毎に学校公開【オープンスクールウィーク】を実施し、土曜日を加えることで、保護者や地域の方々が来校しやすい環境を作る。</p> <p>② 「学校だより」「進路だより」「生徒指導だより」等の通信を定期的に発行する。</p>	<p>【達成状況】 A7 保護者の肯定的回答 94.6% ○ ・保護者と地域住民の肯定的回答が90%を越えており、土曜授業でPTA総会や校内持久走大会を実施し、保護者が参加しやすいようにした。 ・ホームページを活用したり、学校だよりを市民センター等に配布したりするほか、図書、給食、進路、保健だよりや、PTAだより等で学校の情報を発信した。</p> <p>【次年度の方針】 ・今後も授業参観と行事参観を設定し、オープンスクールを実施し、保護者や地域の方々が来校しやすい環境を作る。 ・保護者会の時には、DVDやスライドを活用して生徒の活動の様子を紹介する。</p>
<p>A8 学校は、家庭・地域・企業等が連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている。</p> <p>【数値指標】 「学校は家庭、地域、企業等と連携・協力して教育活動や学校運営の充実を図っている」 保護者の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 施設訪問、社会体験学習、小学校との交流等を通して、地域との連携を図る。</p> <p>② 12回に及ぶボランティア活動を通して地域と連携・協力した教育の推進を図る。</p>	<p>【達成状況】 A8 保護者の肯定的回答 88.6% ・保護者の肯定的回答が昨年に続き85%を越えた。年4回のPTA役員会の開催や行事を通して地域と交流ができたことが肯定的評価につながったと考えられる。</p> <p>【次年度の方針】 ・体育祭、文化祭、施設訪問、社会体験学習等を通して、地域との連携を図る。 ・ボランティア活動を通して、地域と交流を図っていく。</p>
<p>A9 学校は、清掃が行き届き、荷物や備品などが整理整頓され、学習しやすい環境である。</p> <p>【数値指標】 「学校は清掃がしっかり行われ学習しやすくきれいで安全な環境である」 生徒の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 教師は生徒と一緒に清掃をやる中で清掃指導し、また、教師の安全点検でより良い環境作りに努める。</p> <p>② 生徒会活動(美化委員会)による清掃状況点検を月に1回程度実施し、その改善に向けて徹底させる。</p>	<p>【達成状況】 A9 生徒の肯定的回答 88.3% ・数値目標は達成しているが、取り組みを一層徹底していく。</p> <p>【次年度の方針】 ・次年度は生徒数が増加することが確実なため、分担区を再検討する必要がある。</p>

<p>A10 学校は、小学校と中学校が連携した取り組みを主体的に行っている。</p> <p>【数値目標】 「学校は、小学生や中学生が交流する活動をおこなっている」生徒の肯定的回答90%以上</p>	<p>① 地域学校園内の小学校や地域協議会と連携した「あいさつ運動」を継続実施する。生徒会担当と生徒指導担当で年度当初に協議して、実施時期や内容等について検討する。</p> <p>② 人からのあいさつに返すだけでなく、自分から進んで挨拶できるように指導を充実させる。</p>	<p>【達成状況】 A10 生徒の肯定的回答は91.9%で市平均を上回っている。保護者は89.8%、地域住民は100%でどちらも市平均を上回っており、小中一貫教育が浸透してきている。</p> <p>【次年度の方針】 これまでの取組を継続し、「小中交流あいさつ運動」、「小6と中1による小中交流学習」、そして「乗り入れ授業」などを通して、小中の連携をさらに図っていく。</p>
<p>B1 教職員は、定期的に交通指導や登校指導を行い、交通事故防止に努めている。</p> <p>【数値目標】 「生徒は交通ルールやマナーを守っている」生徒の肯定的回答80%以上</p>	<p>① 定期的な登校指導や生徒指導だより等を通じて、家庭や地域との連携を図りながら、交通ルールやマナーを守ろうとする意識の向上を図る。</p>	<p>【達成状況】 B1 生徒の肯定的回答は98.3%、保護者は91.3%、教職員は100%、そして地域は、昨年より約6%増加し、100%となっている。</p> <p>【次年度の方針】 交通ルールやマナーの厳守及び安全な登下校の確保は、本校の最重要課題の一つである。全教職員の共通理解の下、教職員による毎月の登校指導や冬季のPTA生活指導部と教職員による下校指導、また、随時行われる交通指導など、交通指導にはかなり力を入れている。</p> <p>特に今年度は、11月から1月の3か月間、教職員がローテーションで、危険箇所3か所の立哨指導を行った。また、「並進撲滅運動」と題し、教職員が呼びかけを行い、朝に前日の状況を生徒に自己申告させるなど重点的に取り組み、並進する生徒がかなり減っている。次年度も継続していく。また、全校集会や学級での指導はもちろんのこと、家庭や地域の協力の下、安全な自転車走行や生命尊重の意識の高揚に努めていく。</p>

教育活動の状況	生活	<p>A11 生徒は、時と場に応じたあいさつをしている。</p> <p>【数値指標】 「生徒はあいさつをしている」 生徒の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 全職員がすすんであいさつをするとともに、生徒会活動や小中が連携した「あいさつ運動」を実施する。</p>	<p>【達成状況】 A11 生徒の肯定的回答は 95%で、3%増加した。教職員は 92.5%、保護者は 81.9%、地域住民は 100%でそれぞれ昨年よりもかなり増加した。</p> <p>【次年度の方針】 ○小中一貫教育の取組として、引き続き地域学校園の「小中交流あいさつ運動」「あいさつ運動強化週間」を継続し、さらに魅力ある学校づくり地域協議会と連携し、地域ぐるみであいさつの励行に努めていく。また、生徒会や生活安全委員会そして有志によるあいさつ運動を展開し、学校の活性化に努める。さらに、なぜあいさつが大切なのかを深く考えさせることも重要なので、道徳・学活等であいさつについて考えさせ、生徒の豊かな心を育てていく。</p>
		<p>A12 生徒は、時と場に応じた言葉づかいをしている。</p> <p>【数値指標】 「生徒は場に応じた適切な言葉づかいをしている」 生徒の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 時と場に応じた正しい言葉づかいについて全職員が様々な場面で指導を行う。</p>	<p>【達成状況】 生徒の肯定的回答89.2% 昨年と比べ、生徒の肯定的回答は5ポイント上がった。保護者の回答も5.7ポイント上がり、教職員の回答も昨年度の70.6%から92.5%に上がった。</p> <p>【次年度の方針】 全職員の共通理解のもと、全教科・全領域で適切な言葉遣いや発表の仕方ができるよう、その場その場で繰り返し指導・助言していく。また、教師も丁寧な言葉遣いで模範を示す。</p>

	<p>B2 教職員は、生徒の長所や得意なことなどを認め、ほめている。 している。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「先生は、生徒のがんばったことやよい行いをほめてくれる」 生徒の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 学校行事や生徒会活動など、多くの生徒が活躍する場を設け、生徒が前向きになれる言葉かけなどを継続する。</p> <p>② 体育祭や合唱コンクール等の学校行事前に、達成可能な目標を設定できるように指導し、その達成に向けた頑張りを認め、称賛することを通して、事故有用感を高める指導を継続していく。</p>	<p>【達成状況】 ・生徒の肯定的回答は90.6%で目標達成することができた。また、教職員は97.5%と非常に高い回答だった。</p> <p>B</p> <p>【次年度の方針】 ・行事等の前に目標設定をし、事後においても生徒の頑張りを認める指導を継続していく。</p>
	<p>A13 生徒は、休み時間や放課後などに積極的に運動をしている。</p> <p>【数値指標】 「体育の授業において、どの種目に対しても積極的に取り組んでいる」 生徒の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 体育的行事に意欲的に取り組む実態があるので、企画運営にも参画させ、更に、積極的に取り組ませる。</p> <p>② 昼休み、校庭で自由な発想で活動し、積極的に体を動かすことを呼びかける。</p>	<p>【達成状況】 ・生徒が80%で去年より大幅に上回った。教職員は70%、保護者は85%と去年よりも上回った。</p> <p>B</p> <p>【次年度の方針】 ・現在の取り組みを継続し体育的行事の意味などを知らせさらに充実させていく。 ・昼休みに室内で活動する生徒に、外で運動するよう呼びかける。</p>
健康・体力	<p>A14 生徒は好き嫌いなく給食を食べている。</p> <p>【数値指標】 「自分の子どもは朝ごはんを食べ、好き嫌いなく食事をしている」 保護者の肯定的回答 80%</p>	<p>① 毎日の給食で、地産地消に心がけた献立を工夫し、食育の充実を図る。</p> <p>② 毎月の「給食だより」で職の大切さを家庭にも伝える。</p>	<p>【達成状況】 ・生徒は、77.5%と昨年度とほぼ変わらず、教職員は82.5%と大幅な上昇が見られた。さらに教職員においては市平均を上回った。</p> <p>B</p> <p>【次年度の方針】 ・今後も、偏食を無くすように呼びかける。 ・食の大切さを伝える給食週間などを利用し、食の大切さを伝える。 ・食文化を意識した「給食だより」を発行する。</p>
	<p>B3 生徒は、自分の良いところを理解している。</p> <p>【数値指標】 「私には、がんばっていることやよいところがある。」 生徒の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 道徳、学級活動の時間を中心に、お互いの良いところを見つけ、認め合う活動を意図的に取り入れ、自他の長所に目を向けたコミュニケーションが取れるよう指導していく。</p>	<p>【達成状況】 ・生徒が80.2%で目標達成することができた。教職員は77.5%、保護者は77.2%であった。</p> <p>B</p> <p>【次年度の方針】 ・学校生活において、生徒が頑張っているところを積極的に称賛し、更には学級だより、学校ホームページ、学校だより等で発信していく。</p>

学 習	<p>A 15 生徒は、授業中に進んで話し合い、分かりやすく発表するなど、積極的に学習している。</p> <p>【数値指標】 先生方は、放課後や夏休みを利用して、学習相談を希望する生徒の支援をしてくれる。 生徒の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 部活動のない日や定期テスト前の放課後等、さらに長期休業中における学習相談会の機会を増やし充実させる。</p>	<p>【達成状況】 生徒の肯定的回答90% 昨年に比べ、生徒の肯定的回答は1.4ポイント上がった。保護者の回答も2.3ポイント上がった。さらに教職員の回答は64.7%から95%まで大きく上がった。</p> <p>【次年度の方針】 各教科において、「見せ合い授業」を活用する。また、授業の中で基礎・基本の力を定着させ、それを活用するような言語活動の工夫を行うなど、今後も継続して指導していく。また、各クラスで互いに認めあえるような和やかな学級作りに努めていく。</p>
	<p>A 16 生徒は、授業中先生や友達の話をよく聞くなど、落ち着いて学習している。</p> <p>【数値指標】 生徒は、先生や友達の話をよく聞き、落ち着いて学習している。 生徒の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 「学業指導について」（県教委）職員間の周知徹底を図り、授業の工夫を図る。</p>	<p>【達成状況】 生徒の肯定的回答80.4% 昨年に比べ、生徒の肯定的回答は2ポイント下がった。教職員の回答も9.6ポイント下がった。保護者・教職員ともに市の平均を下回っている。</p> <p>【次年度の方針】 「学習の4つの決まり」を確認し、特に人の話をよく聞くこと、指名された際には返事をすることに重点を置いて授業中のルールが徹底できるよう指導していく。また、個別指導が必要な生徒については、TTを活用するなど、繰り返し丁寧に指導を継続していく。</p>
	<p>B 4 生徒は、読書の時間に進んで読書を行い、図書室を利用して読書量を増やしている。</p> <p>【数値指標】 「本校の生徒は読書の時間に進んで本を読んだり、図書室や家庭で本に親しんだりしている」 生徒の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① ブックトーク等（図書委員会）による読書の啓発活動を推進する。</p> <p>② 朝の読書の意義について全校の共通理解を図る。</p>	<p>【達成状況】 ・生徒の肯定的回答は73.7%と昨年度よりも9.7%減少し、目標達成することはできなかった。また、教職員保護者とも肯定的回答率は昨年度よりも下回った。</p> <p>【次年度の方針】 ・引き続き、図書委員会によるブックトーク等の活動を行い、読書啓発活動を推進する。 ・学校だよりに図書室の利用状況、委員会の活動の様子等を掲載し、図書だよりや学校ホームページを通して活動の様子を発信していく。 ・登校後は速やかに進んで読書ができる教室環境を整えていく。</p>

<p>本校の特色・課題等</p>	<p>B5 生徒は、主体的かつ継続的に家庭学習に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 「本校の生徒は基本的な学習内容を身に付けるため、家庭でよく学習している」 生徒の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 自主学習ノートの提出による家庭学習の定着を図る。</p> <p>② 各教科の課題の提出を徹底し、家庭学習の定着を図る。</p>	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒の肯定的回答は78.5%と昨年度よりも減少し、目標を達成することはできなかった。教職員は、肯定的回答率は上昇した。 <p>【次年度の方針】</p> <p>B</p> <ul style="list-style-type: none"> 担任が生徒の家庭学習の状況を把握できるようにしていく。 学年に応じた自主学習ノートの内容を工夫していく 自主学習ノートの紹介を行うなど、自主学習ノートの学習内容について支援していく。
------------------	--	--	--

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

- ・昨年度各項目で、肯定的回答の割合が大きく向上したが、今年度もほとんどの項目で昨年度以上の回答を得た。これは、本項の取り組みや教職員の努力を、学校だよりや学年だより、進路だより・保健だより・生徒指導だより・学校ホームページ等で積極的に保護者の方や生徒に発信してきた成果と思われる。
- ・保護者からの評価は、昨年度すべての面で、市中学校平均を下まわっていたが、今年度は、6項目で市平均を上回ることができた。今年度は、学校ホームページを毎日のように更新し、閲覧数も飛躍的に伸び、情報発信による保護者の理解が得られたものと思われる。各種通信に加えて土曜授業での学校行事や保護者会での授業参観を実施し、より開かれた学校づくりを目指していく。特に、質問5のいじめ対策に関して、生徒は、96.3%であり、保護者は65.3%と昨年度よりも11.1%上昇している。市全体から見ても低い肯定率だが、このことに関して地域協議会で話題となり、「我が子がいじめに合わないか」という保護者の不安の表れでは・・・」との意見もあった。
- ・質問14の「好き嫌いなく給食を食べている」の項目は、教職員の肯定的回答が、昨年度より23.7%上昇した。市の平均を上回っており、よい傾向といえる。
- ・学校独自のアンケートの質問18、19は今年度より新たな質問とした。質問18「教職員は、生徒の長所や得意なことなどを認め、ほめている」は、児童生徒の肯定的回答が、90.6%にのぼった。また、質問19「生徒は、自分の良いところを理解している」は、児童生徒の肯定的回答が、80.2%と自己肯定感を持つ生徒が8割を超える結果となった。
- 地域学校園で共通して重点目標にあげている「あいさつ」と「言葉づかい」については、肯定的回答が質問11の「あいさつ」では、教職員・保護者・地域住民・児童生徒とも昨年度より向上し、市平均を上回った。質問12の「言葉づかい」では、保護者・児童生徒では昨年度より向上し、教職員では21.9%上昇した。今後も小中連携してさらに強化していきたい。

6 学校関係者評価

- ・生徒が学校をどう見ているのかの肯定率が高い。(質問2, 5, 17, 18) 楽しく学校に通っていることがわかる。
- ・花いっぱい運動は、生徒も参加し地域住民と一緒に活動するといいいのではないかと昨年度の指摘を受け、今年度は全3回、生徒と共に活動できて良かった。
- ・あいさつが素晴らしい。もっと高い数字が出てもおかしくない。
- ・いじめの保護者評価が低いので、今後どう取り組むかが課題である。発信の仕方の工夫が必要ではないか。

7 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

- ・学校では、並進撲滅運動を展開しているが、なかなか減らないのが現状である。生徒への啓発は今後も継続していく。
- ・学校ホームページをより魅力的にし、情報発信の要としたい。